

令和5年度「小浜の未来を担う総合教育事業」全体計画書

小浜市立小浜中学校

■本校の教育目標

志気高き浜中生の育成

■目指す生徒像

- ・「自律・自立した生徒」
- ・「仲間と共に顔晴れる生徒」
- ・「浜中の新たな歴史を創造する生徒」

■生徒の実態

- ・明るく素直で、様々な活動に意欲的に取り組むことができる生徒が多い。
- ・学校生活全般にわたり協働的な活動にしようとして取り組んでいる。
- ・まわりの行動に左右され、主体的に判断して取り組む力がやや不足している。
- ・コロナ禍の中で様々な制約を受けた中で、体験的な学習から得た経験的知識がやや乏しい。

■学習指導要領の趣旨

- ・生きる力の育成
- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得
- ・思考力・判断力・表現力等の育成
- ・主体的に学習に取り組む態度の育成
- ・言語活動の充実
- ・学習習慣の確立
- ・道徳教育の一層の充実
- ・体育・健康に関する指導の充実

■小浜市教育方針

食育文化都市にふさわしい郷土を愛する心を培い、新しい時代を生き抜く「志」高き人材を育成する。

■地域・保護者の願い

- ・健康で明るい生徒
- ・よく考え、正しく判断して行動できる生徒
- ・ねばり強く取り組む生徒
- ・人のために尽くそうとする優しさを持った生徒

■ふるさと学習の主題

愛校心とともに、ふるさとに根ざした豊かな心を育てる

■本校のふるさと教育のとらえ

- ・自然や伝統文化の豊富な「ふるさと小浜」の自然・歴史・文化・食・産業・交通などの内容について、調べ学習や体験活動を通して理解を深める。
- ・総合的な学習の時間などに地域の講師を招いたり、道徳や学級活動の時間と関連させたりしながら、自分の考え方を深め、生き方を見つめていく。
- ・生徒の生活の舞台である地域社会の教育力を活かし、学校と地域で共に生徒を育てる。

■豊かな心のとらえ

豊かな心は、かけがえのないふるさとを愛する心、ふるさとのよさを知り愛着をもつことが原点となる。
下記は「豊かな心」の重要項目である。

- ①美しいものや自然に感動できる柔らかな感性をもつ心（郷土愛）
- ②自他の命を大切にし、他人への思いやりのある心（思いやり）
- ③社会に貢献し、奉仕する心（勤労・奉仕）

1 各教科

- ・基礎的・基本的な内容を確実に習得させる。
- ・他の学習場面や日常生活に活かし活用できる見方・考え方を習得させる。
- ・各教科の特性に応じた調べ方、まとめ方、深め方、伝え方を習得させる。
- ・学んだことを日常生活に活かし、よりよい生き方を求めて行動する態度を育む。

2 道徳

- ・体験や調べ学習と自分を見つめる学習（道徳の授業）が効果的にかみあったとき、郷土愛をはじめ、生徒の道徳性は育ち、日々の生活に生きてはたらく。その関連の効果的なあり方を工夫する。
- ・「ふるさと福井の先人100人」の活用
- ・体験を活かした道徳の授業の工夫
- ・新聞の活用

3 特別活動

- ・体験を活かした学級活動や学年活動の工夫
- ・学校行事等における地域の人的資源の活用
- ・進路・キャリアに関わる学習
 - －自分を知る学習
 - －生き方・職業を知る学習
 - －上級学校を知る学習

4 総合的な学習の時間

- 基礎学習
 - 1年・郷土愛に関する学習
 - ・生き方に関する学習①
 - 2年・ふるさとの人・もの・ことについての学習
 - ・生き方に関する学習②
- 発展学習
 - 2年・地域発展に関する学習①
 - 3年・地域発展に関する学習②
 - ・生き方に関する学習③
 - －課題研究発表会

令和5年度「小浜の未来を担う総合教育事業」研究計画・年間指導計画書

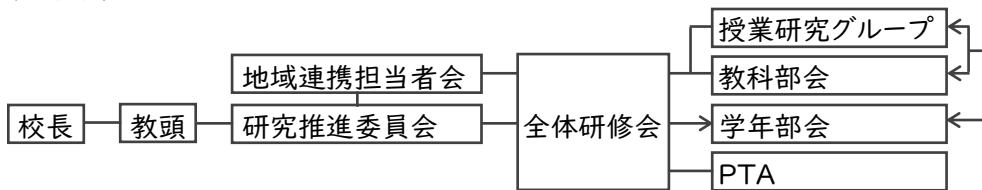
1 ふるさと学習の主題

愛校心とともに、ふるさとに根ざした豊かな心を育てる

学校教育目標『志気高き浜中生の育成』のもと、『自律・自立した生徒』『仲間とともに顔晴れる生徒』『浜中の新たな歴史を創造する生徒』の育成を目指している。

「豊かな心」は、かけがえのないふるさとを愛すること、ふるさとの良さを知り愛着を持つことを抜きにして育むことはできない。ふるさと「小浜」の自然・歴史・文化・食・産業・交通などの内容について、調べ学習や体験活動を通して理解を深めていきたい。総合的な学習の時間や道徳、特別活動の時間と関連させながら、地域の「人・もの・こと」に対する自分の考え方を深め、自分の生き方を見つめていく活動を展開していきたい。また、学んだことを学校外へ発信したり、地域貢献活動へと具現化したりすることを通して、ふるさとに対する愛着を高め、持続可能な社会の構築に参画する資質や能力の育成に努めたい。生徒の生活の礎ともなっている地域社会の教育力を活かし、学校と地域で共に生徒を育てるという視点からこの主題を設定した。

2 研究組織

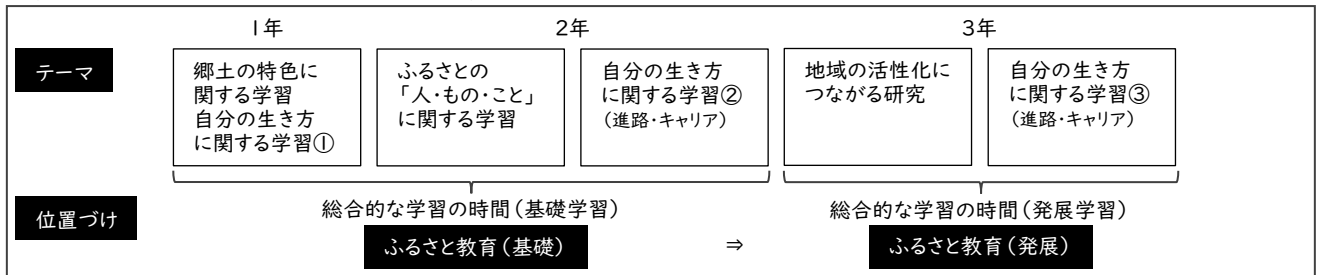


3 年間指導計画の概要

(1) 「総合的な学習の時間」における取組

下記のような枠組みで総合的な学習の時間を実施していく。1年生の「郷土に関する学習」「生き方に関する学習①」、2年生の「ふるさとの人・もの・ことに関する学習」「生き方に関する学習②」を「ふるさと学習」の基礎学習と位置づける。3年生では、発展学習として「自己の生き方」について、1・2年時の基礎学習をふまえてじっくりと考える時間を持つ。また、地域社会の一員として、課題解決学習に取り組み、地域に根ざした学習を計画、実施する。

総合的な学習の時間における、ふるさと学習のねらいは、「ふるさとを愛する心を育てること」と「学び方・調べ方、および伝達方法の習得」の「いろいろな方との出会いを通して、自分自身の生き方を考える」の3つである。実際に地域に出かけ、地域の方々との交流を通して学ぶなど、実践の方法や内容を工夫しながら進めていきたい。



(2) 道徳の時間と関連させた取組

各学年で主たる道徳的ねらいをしぼり、体験と自分を見つめる学習(道徳の授業や学活等)が効果的にかみあったとき、郷土愛をはじめ、生徒の道徳性は育ち、日々の生活に生きてはたらくものであると考える。その関連の効果的なあり方をマネジメントしていきたい。また、ふるさとの先人や現代に活躍している人を道徳で取り上げ、ふるさとに対する理解を深め、愛着を高めたい。

(3) 特別活動における取組

学校行事や学年の行事を実施する際に、地域の人的資源の活用を図りたい。地域の方に講師として話をいただくことで、学校と地域との連携を深めることができる。また、地域の自然、文化、歴史、産業をテーマに取り入れた行事を計画して実行する中で生徒のふるさとの良さを理解し、持続可能な地域社会のあり方について主体的に考える態度を培いたい。

(4) 食の教育における取組

総合的な学習の時間、特別活動、各教科、学校行事、給食の時間など、学校教育全体を通して「食の教育」を推進していく。地場産の食材や食文化を学ぶことで地域への知識を広げていきたい。また、「食」に関わる地域の人たちの様子を学ぶことから、ふるさとを愛する心が強まると考える。指導に当たっては、栄養教諭と連携した食育指導、箸の持ち方指導を継続して行っていく。